イノベーション・ジャパン2015
～大学見本市＆ビジネスマッチング～

工学院大学　建築学部　建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科
教授　後藤治

防災

守るべき伝統，根づかせる技術・価値　–左官壁・天井の浸透性樹脂補修技法の開発–

展示 D-05
プレ JP-04A2

Kogakuin University
Professor Osamu Goto

Preservation and Generalization of historical plasterer wall and ceiling with penetrating regin technology

印刷する

出展分野	防災
出展ゾーン	大学見本市
小間番号	D-05
プレゼンテーション	JP-04A2

展示概要

出展の概要（出展技術の概要）

現在、国内の伝統的建物群は，国内外からの観光や地域振興の拠点の形成に重要な核となりつつある。一方、それらは長年に渡る使用により、劣化が進んでいるものが多く，今後も安全・安心な形で時代を越えて継承する技術的な仕組みが必要である。実際、東日本大震災では、伝統的な左官工法を用いた土蔵造りの壁や、明治期以後の西洋風建物における装飾的な漆喰壁・天井が、剥離・剥落し取り壊されてしまったものも少なくない。本研究は、これらの経年劣化や災害を越えて、価値ある建物の意匠的価値や歴史性を大きく損なわない形で維持・継承するため、左官仕上げの壁・天井を現代技術である高浸透性の樹脂剤で補修する工法を実現したものである。

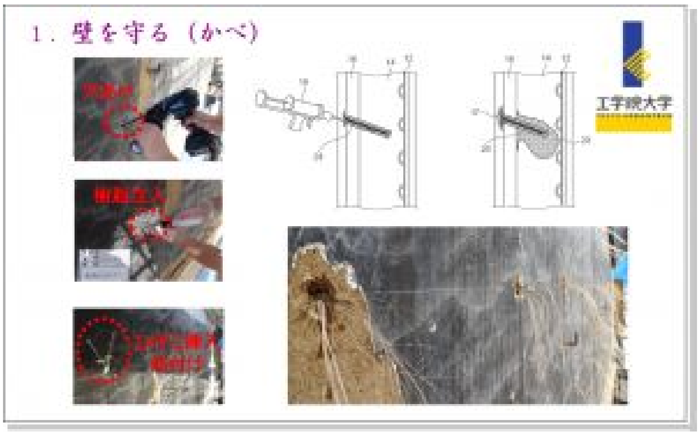
展示の見どころ

日本のものづくりの伝統的価値を守り、社会貢献を果たしていく技術を紹介する。展示するものは下記の通りです。
１）伝統的建築物の「土蔵壁」に、特許技術を施した補修前後の実物モデル　２）伝統的建築物の「漆喰塗天井」に、特許技術を施した補修前後の実物モデル
３）補修前・後の実物モデルを用い、振動台実験で剥離・剥落が生じる状況の比較映像

想定される活用例

１）重要文化財等に指定された建造物の強化・補修　２）伝統的建造物群保存地区を形成する建造物群の強化・補修　３）地震災害で被災した建造物の部分補修や緊急補修

秋田県増田町にて実証した特許技術



壁を守る

新技術に関する知的財産権

特許情報1

発明の名称	補修壁、補修天井及びコテ仕上げ面体の補修方法
出願人	工学院大学，(株)樹
発明者	後藤治，田村雅紀，丸山樹、横島順一、石崎斯征
出願日	
出願番号	特願2015-39541

お問い合わせ先

連絡先: 工学院大学　総合研究所　研究推進課
TEL: 042-628-4940
FAX: 042-626-6726
URL: http://www.kogakuin.ac.jp/faculty/department/architecture/kenchikudesign/adlabo/4310.html

一覧ページへ

COPYRIGHT (C) 2015 イノベーション・ジャパン2015運営事務局 All RIGHT RESERVED.